

補習等のための指導員等派遣事業（平成26年度予算:33億円 対前年度5億円増） ～ 経験豊かなシルバー人材等の積極的参加による地域ぐるみの教育再生 ～

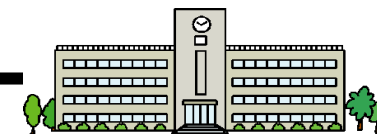
～ 補充学習や発展的な学習など学力向上等のための学校サポーター ～

地域の退職教職員、社会人(OB)、教員志望の大学生など **約8千人**



〔具体例〕

学 校



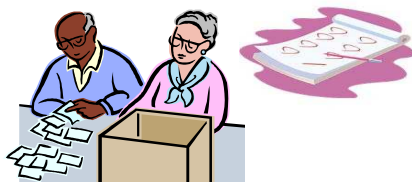
児童生徒学習サポーター

- ・個別学習や課題別学習への対応
- ・補充学習や発展的な学習への対応



教師業務アシスタント

- ・教材開発・作成など教師の授業準備や授業中の補助などの支援
- ・採点、成績処理、出席管理等の業務支援



教師力向上支援員

- ・臨時教員等経験の浅い教員に対する指導・助言
- ・個別の教育課題に関する現職教員に対する研修
- ・小学校における理科等の専科教育の充実



学校生活適応支援員

- ・小1プロブレム・中1ギャップへの対応
- ・不登校等の生徒指導対応
- ・外国人児童生徒への日本語指導



《補助金の概要》

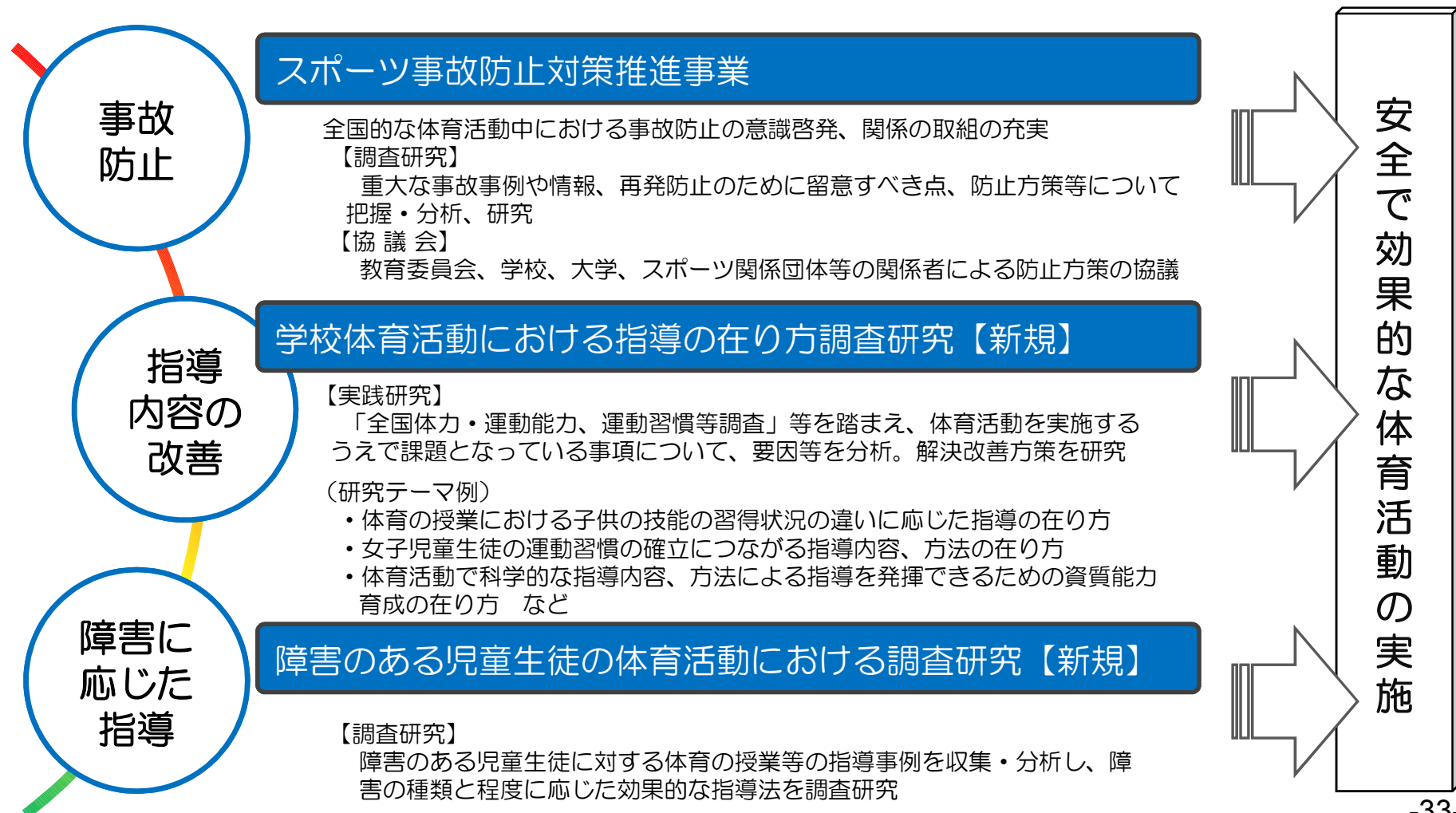
学力向上を目的とした学校教育活動の一環として、補充授業等を行うためにシルバー人材など多様な地域人材を配置する事業経費の一部を補助

- 配置人数(予算額):8,000人(33億円)
- 事業主体:都道府県及び政令指定都市
- 補助割合:1/3

体育活動における課題対策推進事業

26年度予算額： 80,703千円

学校における体育活動は、体力向上、健康増進、競争心や連帯感の涵養、人間関係の形成など、生涯にわたる豊かな生活を実現するための基礎となるものである。一方で、毎年報告される死亡等の重大事故の発生や体育授業の効果的な実施などの様々な課題も抱えている。これらの課題に対応し、安全でより効果的な体育活動を実施するための取組を推進する。



3. 平成26年度特別支援教育関係予算等 ～特別支援教育支援員の地方財政措置～

【26年度措置額：約530億円(25年度措置額：約514億円)】

「特別支援教育支援員」は、公立幼稚園、小・中学校、高等学校において、校長、教頭、特別支援教育コーディネーター、担任教師等と連携のうえ、日常生活上の介助(食事、排泄、教室の移動補助等)、発達障害等の幼児児童生徒に対する学習支援、幼児児童生徒の健康・安全確保、周囲の幼児児童生徒の障害理解促進等を行う。



■特別支援教育支援員の配置に係る経費(拡充)

□ 公立幼稚園、小・中学校及び高等学校において、障害のある幼児児童生徒に対し、学習活動上のサポート等を行う「特別支援教育支援員」を配置するため、都道府県・市町村に対して、必要な経費を措置するもの。



学校種	平成26年度	平成25年度
幼稚園【拡充】	5,300人	4,800人
小・中学校【拡充】	40,500人	39,400人
高等学校	500人	500人
合計	46,300人 (事業費:約530億円)	44,700人 (事業費:約514億円)

平成19年度～:公立小・中学校について地方財政措置を開始

平成21年度～:公立幼稚園について地方財政措置を開始

平成23年度～:公立高等学校について地方財政措置を開始

(参考) 平成26年度特別支援教育関係予算等 ～平成24年度からの教材整備関係の地方財政措置～

背景

学習指導要領は、これまで概ね10ヵ年ごとに改訂されており、その改訂に併せて整備基準を改定してきたところである。

今回の新学習指導要領に併せて、文部科学省では、各教育委員会、各学校で教材を整備する際の「参考資料」として、平成23年4月、「教材整備指針」を示したところである。

対応

「義務教育諸学校における新たな教材整備計画」
〈平成24年度から33年度までの10年間〉

年次計画額

単年度措置額（普通交付税）約800億円（10ヵ年総額 約8,000億円）
（小学校：約500億円、中学校：約260億円、特別支援学校：約40億円）

積算内容

- 「教材整備指針」（平成23年4月通知）に基づく例示教材等の整備に必要な経費を積算。
 - （1）既に学校が保有している教材について、更新に必要な経費
 - （2）新学習指導要領に対応するため、外国語活動（小学校）、武道の必修化（中学校）及び和楽器整備等（中学校）の整備に必要な経費
 - （3）特別支援教育の指導に必要な経費
 - （4）少額理科教材（理科教育等設備整備費補助金の対象とならないもの）
 - （5）技術革新に伴う電子黒板、地上デジタルテレビ等

発達障害教育情報センター①（独）国立特別支援教育総合研究所

[指導・支援](#)
[研修講義](#)
[教材・支援機器](#)
[研究紹介](#)
[施策法令](#)
[教育相談](#)
[イベント情報](#)

文字の大きさ [小](#) [標準](#) [大](#)
表示色の変更 [標準](#) [1](#) [2](#)
音声読み上げ等について

国立特別支援教育総合研究所
発達障害教育情報センター


独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
National Institute of Special Needs Education

[センターの紹介](#)

[はじめての方へ](#)
[教職員の方へ](#)
[保護者・一般の方へ](#)
[教育行政関係者の方へ](#)
[海外からご覧の方へ](#)


[アンケートのお願い](#)

[関連リンク集](#)

新着・更新情報

2013年6月4日【指導・支援】
[文部科学省選定の映像作品を追加しました。](#)

2013年5月27日【施策法令】
[文部科学省特別支援教育に関する調査結果を追加しました。](#)

2013年5月13日【指導・支援】
[図書リストを更新しました。](#)

2013年3月29日【研究紹介】
[研究所の発達障害関連の研究紹介を追加しました。](#)

2013年2月4日【研修講義】
[「研修講義：発達障害のある子どもの家族への支援」を更新しました。](#)
[「研修講義：二次障害の理解と対応」を更新しました。](#)

コンテンツのご案内


[指導方法や支援について知りたい](#)
 発達障害のある子どもの理解、対応の仕方等についての基本的な情報を提供します。


[研修講義\(教員向け\)が見たい](#)
 発達障害のある子どもに関わる、理解・指導・支援についての教員向けの講義を動画でお届けします。


[教材教具や支援機器が知りたい](#)
 発達障害のある子どもの教育に活用されている教材・教具や支援機器等について紹介します。


[発達障害に関する研究が知りたい](#)
 発達障害のある子どもの特性に応じた教育的支援に関する研究や文献等を紹介합니다。


[国の施策・法令等が知りたい](#)
 発達障害に関する国の施策や法令、事業等についての情報を提供します。


[教育相談に関する情報が知りたい](#)
 Q&Aや国内の相談機関、また海外渡航者に向けた日本人学校に関する情報を提供します。


[イベント情報](#)
 官公庁、関連する機関や学会等が主催、共催している発達障害に関わるイベントや研修会についての情報を掲載しています。また、本発達障害教育情報センターの活動を紹介しています。

[文字のサイズ](#)
[小さく](#) [標準](#) [大きく](#)

[標準色の変更](#)
[標準](#) [表示色1](#) [表示色2](#)

[音声で読み上げたい方へ](#)
[ひらがなで読みみたい方へ](#)
[色が見にくい方へ](#)

トピックス

[イベント・研修会情報](#)
【最終更新日：2013.10.7】

[ガイドブック等](#)
[教材教具データベース](#)
（文部科学省委嘱事業：全国LD親の会作成）

[発達障害情報・支援センター](#)
（厚生労働省・国立障害者リハビリテーションセンター）

世界自閉症啓発デー
<特設サイト入り口>

毎年4月2日は、国連の定めた
世界自閉症啓発デー
 4/2～4/8発達障害啓発週間

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
Copyright (C) National Institute of Special Needs Education

[URL: http://icedd.nise.go.jp](#)

Powered by NetCommons2 The NetCommons Project

-36-

発達障害教育情報センター②（独）国立特別支援教育総合研究所

○発達障害教育情報センターでは、小中学校等の教員等を対象に、発達障害のある子どもの基本的な理解と指導等の場面における対応について、学校や家庭等で自由に手軽に研修が行えるよう、以下の研修講義コンテンツを用意しています。（1講義15分程度）

<概論>

- ちょっと気になるが出发点
- 教室の中の気になる子どもたち

<発達障害のある子どもの理解と支援>

- 注意を集中し続けることが難しい子
- 音読が難しい子
- 書くことが苦手な子
- 乱暴な言葉や態度を示す子
- 授業中や座っているべきときに席を離れてしまう子
- 状況に関係のない発言をする子どもの理解と支援
- 幼児期の発達障害
- 発達障害のある子どもへの指導・支援体制(1)
- 発達障害のある子どもへの指導・支援体制(2)

- 高機能自閉症等のある児童の国語科指導(1)
～つまずきを予想する～
- 高機能自閉症等のある児童の国語科指導(2)
～基本的な対応について～
- 発達障害のある子どもの家族への支援
- 二次障害の理解と対応

<保護者への支援>

- 先生と保護者の関係づくり
- 幼児を養育している保護者とのかかわり

<医学>

- 自閉症の医学
- ADHDとは何か？

